

「千葉県健康格差分析事業報告書」について

平成28年7月1日
 千葉県健康福祉部健康づくり支援課
 電話 043-223-2666

千葉県では、「健康ちば21（第2次）」の総合目標である「健康格差の実態解明と縮小」の取組として、平成26年度から2年間にわたり健康格差の実態把握及び要因分析を行い、この度、その結果を「千葉県健康格差分析事業報告書」にとりまとめました。今後は、市町村等関係機関に提供するとともに、健康施策の推進に活用してまいります。

1 本報告書の特徴

- (1) 健康寿命等に関連があると考えられる健康指標について、既存の統計資料を用い、都道府県及び市町村別に可能な限り男女別、経年的に把握し、図表等でわかりやすく見える化した。
- (2) 平均寿命、健康寿命、死亡率等の健康指標と生活習慣要因や社会環境要因等との関連を都道府県及び市町村別に、相関分析等の統計的手法を用い、明らかにした。
- (3) 市町村等が具体的施策を講じる際に参考となるよう、好活動事例を掲載した。

2 生活習慣等と寿命及び疾病死亡率との関連について（結果）

- ・ 喫煙率が高いことは男女とも平均寿命、健康寿命が短いこと、男性の脳血管疾患死亡率及び自殺率が高いこと、女性の悪性新生物死亡率が高いことと関連がみられた。
- ・ 野菜を多く食べることは、男女とも健康寿命が長いこと、悪性新生物死亡率が低いことと関連がみられた。
- ・ 減塩は、男女とも悪性新生物死亡率及び心疾患死亡率が低いこと、男性の健康寿命が長いこと、女性では脳血管疾患死亡率及び急性心筋梗塞死亡率が低いことと関連がみられた。
- ・ 歩数が多いことは、男性の健康寿命が長いこと、悪性新生物死亡率及び自殺死亡率が低いことと関連がみられた。
- ・ 近所づきあいや地縁等の結びつきが高いほど、心疾患死亡率や自殺死亡率が低いことと関連がみられた。

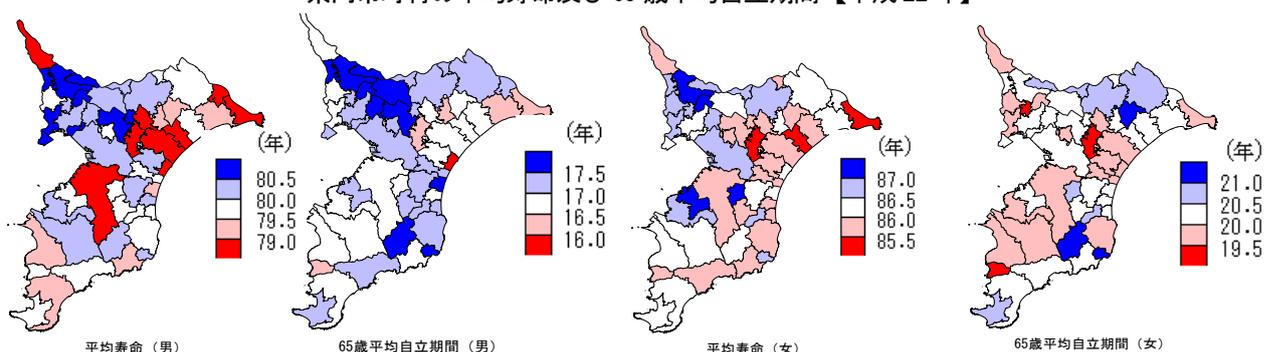
3 主な分析結果等

(1) 平均寿命と健康寿命（報告書P3～4）

本県の「平均寿命」と「健康寿命」を全国と比較すると、男性は健康寿命が第3位であるなどいずれも全国の上回っているが、女性はどちらも下回っている。

また、県内市町村における平均寿命の最長と最短の差は、男性で3.0年、女性で2.4年であり、健康寿命の差は、男性で2.2年、女性で2.5年である。

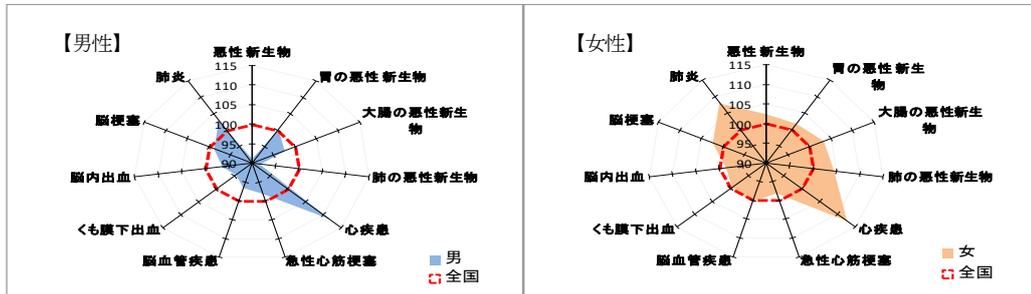
県内市町村の平均寿命及び65歳平均自立期間【平成22年】



(2) 死亡の状況 (報告書P 5～7)

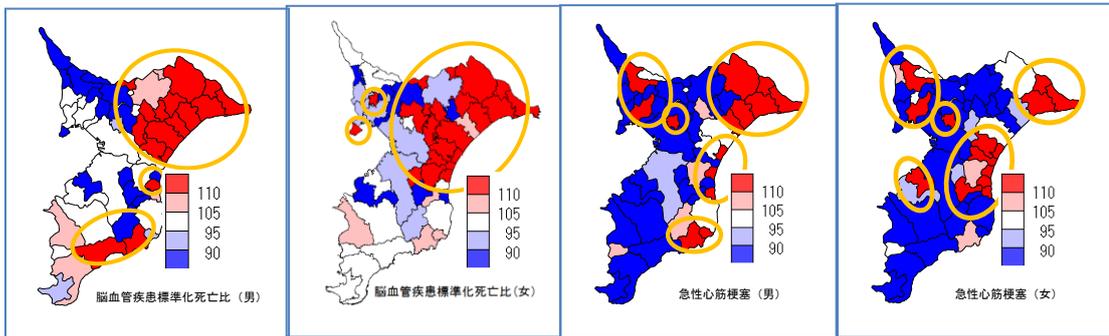
本県の年齢調整死亡率は、男女とも心疾患、肺炎が全国より高く、女性では、悪性新生物、脳梗塞も全国より高くなっている。県内市町村の死因ごとにも地域差がある。

千葉県年齢調整死亡率の47都道府県平均値に対する割合【平成22年】



県内市町村の死亡状況の比較

(数値が高い方が脳血管疾患及び急性心筋梗塞による死亡が多い)【平成20～24年値】



(3) 生活習慣の状況 (報告書P 12)

本県の生活習慣は、「歩数」は、男性7,761歩/日(5位)、女性6,422歩/日(10位)で全国平均より多い状況にあるが、「野菜の1日摂取量」は男性291g/日、女性297g/日で1位の長野県に男性は88g、女性は56g及ばず、「食塩の1日摂取量」は、男女とも全国平均より多い。

千葉県の生活習慣の状況【平成22年】

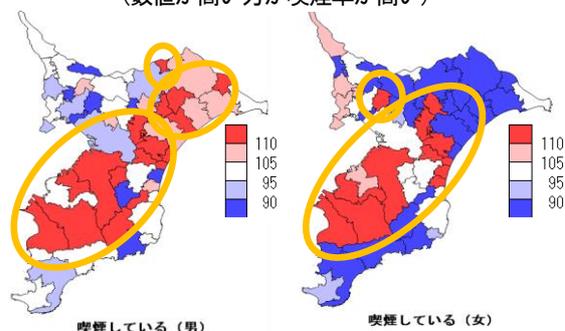
性別	男性			女性			
	全国	野菜摂取量(g/日)	食塩摂取量(g/日)	歩数(歩/日)	野菜摂取量(g/日)	食塩摂取量(g/日)	歩数(歩/日)
千葉県	数値	291	12.0	7,761	297	10.5	6,422
	順位	32位	22位	5位	17位	14位	10位

(参考)長野県の野菜摂取量は男性379g 女性353g

県内市町村の喫煙状況の比較【平成22年】

(数値が高い方が喫煙率が高い)

千葉県の「喫煙率」は、男性34.3%(13位)、女性11.6%(7位)であり、県内市町村で比較すると、男女とも印旛、山武、長生、君津、市原地域で高く、香取地域の男性も高い傾向がある。



4 分析事業報告書に関する説明会の開催

日時：平成28年7月5日(火) 午後2時30分～4時30分

場所：千葉県教育会館303会議室(千葉市中央区中央4-13-10)

対象：市町村、県健康福祉センターの健康づくり施策担当者等

本説明会での報道対応については、6月28日付けの貼りだしをご覧ください。

詳細は別添「千葉県健康格差分析事業報告書」をご覧ください。